

文化の窓

「関根正二とその時代」

「大正洋画の青春」展

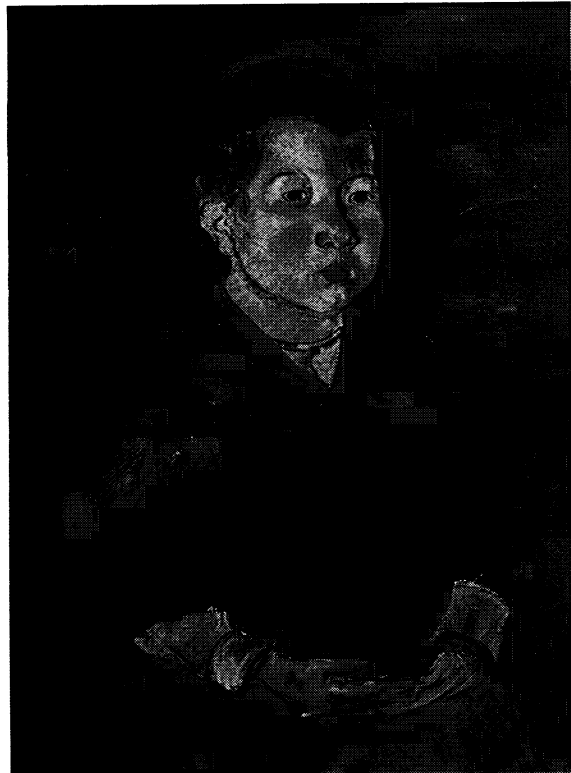
この展覧会では、本県の生んだ「天折の天才画家」、またその幻想的な絵画から「幻視の画家」と呼ばれている関根正二の作品を展示します。「樗牛賞」を受賞した「信仰の悲しみ」、「姉弟」をはじめ、「三星」など、いずれも彼の「青春の詩と真実」が描かれ、私たちに強く迫ってきます。

会期 十月十日(金)～十一月九日(日)

会場 県立美術館

なお詳細については四十九ページの美術館だよりを参照下さい。

▲三星(大正八年)



▲子供(大正八年)ブリヂストン美術館蔵

展覧会案内

川上澄生版画展

十一月十五日(土)

十二月十四日(日)

川上澄生は大正から昭和にかけて活躍した版画家で、文明開化・南蛮調などユニークな主題による連作で知られています。この展覧会では、川上澄生の代表作多数を含む約二百点の作品でその全容を紹介いたします。



▲川上澄生「祀人物」昭和3年